

協議内容

柏市における中高生世代の居場所づくりの基本的な考え方について

【A班】

①運営に係る基本的な考え

ア 子どもにとって安心・安全な居場所であること

- ・ 個人情報をもろう方がよいか，もらわずに利用者が入りやすくする方がよいか
- ・ 開館時間 （放課後からだとは少し遅い。朝から学校に行けない子もいる。）
- ・ 心の居場所（行けばスタッフと話せる，企画として参加できる）

イ 子どもの意見を聴き，運営に反映する居場所であること

- ・ 自己表現・自己実現ができる

エ 市民団体や企業等と連携・協働する居場所であること

- ・ T e T o T eの趣旨に賛同し連携する企業の掘り起こし
- ・ 子育て支援団体，子ども食堂や生きづらさを抱える子どもたちを支える団体の掘り起こし

オ 居場所を必要とする全ての子どもに届く情報発信の場であること

- ・ 利用する当事者に対しての情報発信と，賛同してほしい企業・団体に対しての情報発信

②運営に係る取組

ア 運営マニュアルの整備

- ・ ブラッシュアップして変えていく

イ 中高生モニターの活用

- ・ T e T o T eが完成するまでのドキュメンタリー番組の制作

エ プログラムの充実（過ごしやすい居場所づくり）

- ・ 何もしなくていい居場所
- ・ 多様な目的に合う居場所（リラックスしたい・学びたい・知りたい・表現したい等）

キ 相談体制の構築と関係機関との連携

- ・ 様々な相談体制の構築（進路・福祉・医療等）
- ・ 医療機関との連携
- ・ 相談スペースの配慮

①運営に係る基本的な考え

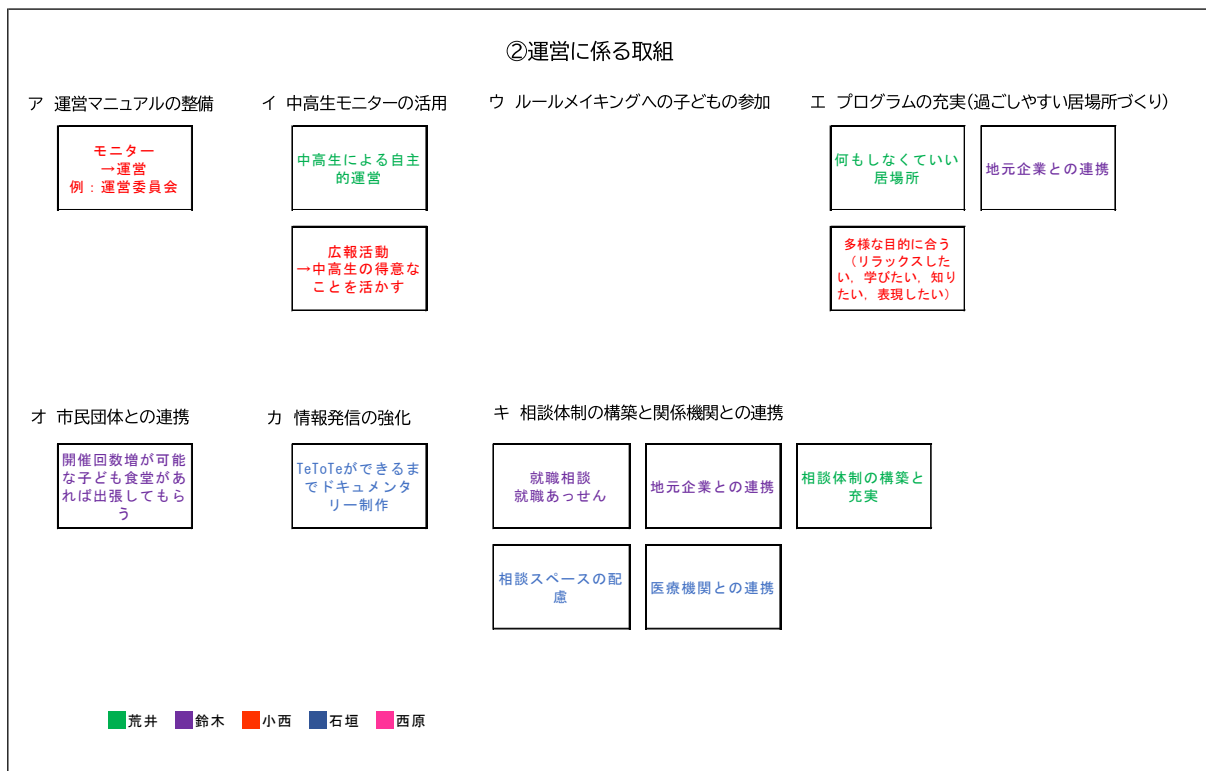
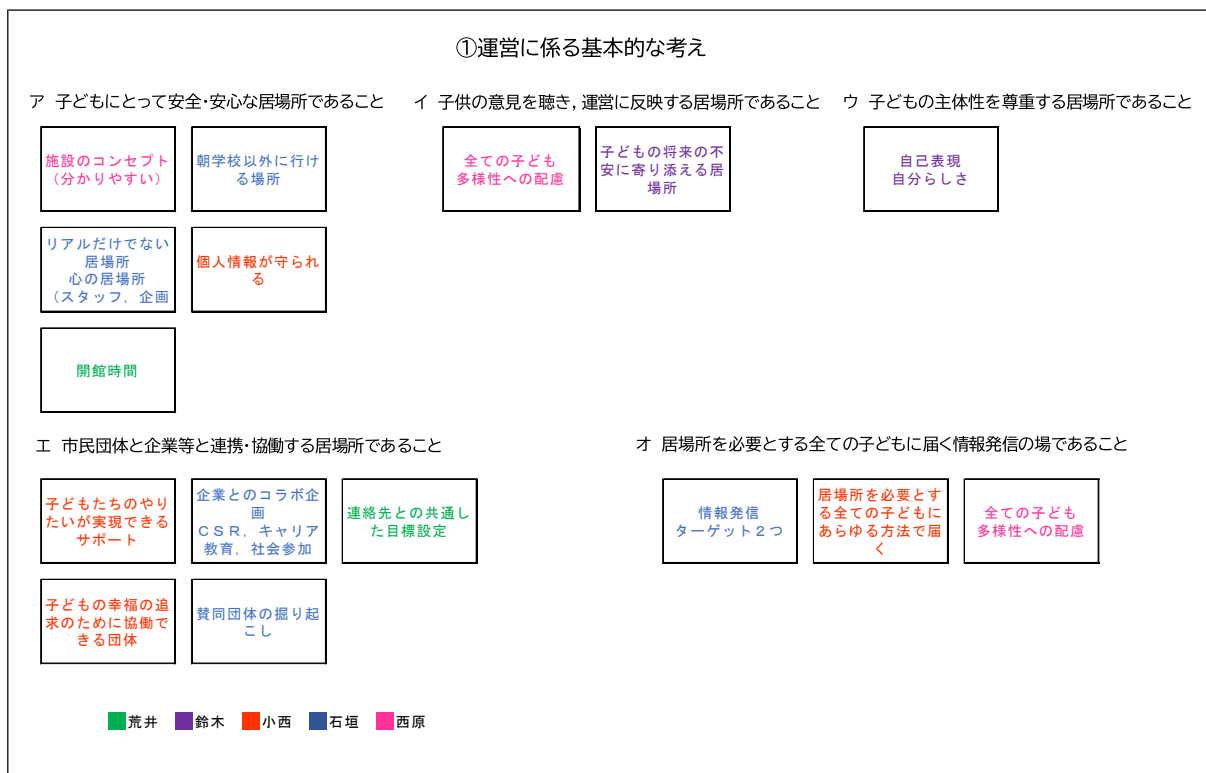
- ア 子どもにとって安全・安心な居場所であること
 - ・信頼できる大人がいる（専門職や資格を持っている）
- イ 子どもの意見を聴き、運営に反映する居場所であること
 - ・意見箱や意見ボードの設置
- ウ 子どもの主体性を尊重する居場所であること
 - ・主体性を引き出すような仕掛け
- エ 市民団体や企業等と連携・協働する居場所であること
 - ・柏の企業とのコラボ
 - ・職業体験
 - ・色々な大人と雑談や相談ができる
- オ 居場所を必要とする全ての子どもに届く情報発信の場であること
 - ・学校に配布する広報誌やポスター，チラシ，SNSの活用

②運営に係る取組

- ア 運営マニュアルの整備
 - ・身体・心への視点
- エ プログラムの充実（過ごしやすい居場所づくり）
 - ・祭りやイベント等に参加
 - ・発表の場がある
 - ・音楽，ゲームがある
- オ 市民団体との連携
 - ・ボランティアへの参加
- カ 情報発信の強化
 - ・中高生発信のSNS
- キ 相談体制の構築と関係機関との連携
 - ・児童相談所・学校・保健所と連携

参考：グループワークの結果

【A 班】



【B班】

